



共同実施連絡協議会全体会

邑南町教育目標 「世界へも『羽ばたける力』の育成」	目的	テーマ
<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとを知り、世界的に・地球的な視野に立った『ふるさと』と『自分』の未来につながる高い志 ○よりよい考えを創りだすために学んだ知識や必要とする新たな情報を集め、異質な考えと共に積極的に出会い、豊かな表現力をもってコミュニケーションできる力 ○人とつながり、人をつなぎ、課題解決に向かい続ける意欲 	<p>邑南町立小中学校における学校事務関係者が連携・協力して業務を行い、学校事務部門を充実・強化させることによって、学校の教育力向上に寄与する</p>	<p>「つなごう」 “学校と学校” “職と職” “学校と教委”</p>

【 目 標 】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係者の連携・協力により、業務の効率化・適正化を図るための取組を行い事務部門の強化を図る ○ 学校運営へ財務領域から参画することにより、教育活動の円滑な実施を支援し教育力の向上を図る ○ 町内の学校事務の平準化・事務職員の資質向上を図る

事務部門の強化	会長(邑南町教育委員会教育長) 大橋 覚	教育部門の支援
<p>◎ ◎ ◎ 教育委員会との連携を強化し、システムの総合改善</p> <p>◎ 町全体の事務処理の効率化 ◎ 町全体の事務の適正化</p>	<p>副会長(代表校長) 伊藤広志(高原小)・木村裕幸(石見中) 代表教頭 上野暢彦(阿須那小)・三島 浩(石見東小)</p>	<p>◎ ◎ ◎ 学校組織と教育活動の改善</p> <p>◎ 事務・会計等業務領域への支援 ◎ 教育目標具現化のため主体的に学校経営に参画</p>
	共同実施推進委員会	
	<p>推進者 黒見正樹(石見中)、石川大介(高原小)</p>	
	<p>グループリーダー 黒見正樹(石見中)、石川大介(高原小)</p>	
	<p>グループサブリーダー 大橋幸子(石見東小)、大隅彩子(阿須那小)</p>	
<p>事務局 湯浅康平(町教委)・岸野 綾子(口羽小)</p>		
<p>全体会と実施会の企画・調整</p>		
共同実施会		
<p>教育委員会 学びのまち総務課</p>		
<p>町内小中学校事務職員等事務担当者</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校事務・業務の改善要求 ○ グループ間及び学校と教育委員会との連携 ○ 校長会との連携 ○ 教頭会との連携 		

東 部 グ ル ー プ 会		西 部 グ ル ー プ 会	
瑞徳中学校	羽須美中学校	石見中学校	矢上小学校
高原小学校	口羽小学校	石見東小学校	市木小学校
瑞徳小学校	阿須那小学校	日貫小学校	
(邑 南 町 教 育 委 員 会 学 び の ま ち 総 務 課)			
<ul style="list-style-type: none"> ・事務の共同作業(検認事務、年末調整事務等) ・人材育成と事務能力の資質向上 ・転出入処理システム(学籍事務)の整備・検討 ・文書電子化に関すること ・人材育成スキルマップの活用 ・事務だよりの発行 		<ul style="list-style-type: none"> ・事務の共同作業(検認事務、年末調整事務等) ・事務職員未配置校への支援 ・人材育成と事務能力の資質向上 ・人材育成スキルマップの活用 ・事務だよりの発行 	

学 校 へ の 教 育 力 向 上 へ の 効 果
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営に参画することにより特色ある学校づくりの推進・支援が可能となる ○ 学校事務・業務の効率化や適正化を図ることにより、学校組織と教育活動の改善に活かすことができる。 ○ 規程やマニュアル等の見直しにより安定した学校事務機能の提供ができる

令和5年度 邑南町学校事務共同実施会経営案

目 的

邑南町小中学校における学校事務関係者が連携・協力して業務を行い、学校事務部門を充実・強化させることによって、学校の教育力向上に寄与する。

目 標

学校事務部門の強化	教育部門への支援	事務職員の相互支援
関係者の連携・協力により、業務の効率化・適正化を図るための取組を行い、事務部門の強化を図る。	学校運営へ財務領域から参画することにより、教育活動の円滑な実施を支援し、教育力の向上を図る。	町内の学校事務業務の平準化・事務職員の資質向上を図る。

目標達成のための手立て=具体的な活動内容

<ul style="list-style-type: none"> ○マニュアルの管理について、サイボウズの「ファイル管理」、「学校事務フォルダ」での管理方法について見直し等検討していく。 ○【学籍事務の手引き】【転出入処理システム「tengaくん」】について再検討・修正していく。 (東部グループ) ○文書の電子化の取組として、ScanSnap が導入され、1年経過における実践状況について把握をし、『サポート Q&A』の作成につなげていく。 (東部グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設修繕リスト&カルテについては予算要求時に資料として活用されているが、施設マップの活用については、各学校でまちまちである。そのため、実態を把握し、活用方法について再検討していく。必要であれば、教頭会と連携しすすめていく。 ○昨年度に実施した ICT 実態調査より、引き続き教育委員会、校長会と連携しながら、ICT 環境整備をすすめていく。 ○教育委員会、管理職との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サイボウズ「情報共有スペース」を有効活用しグループ内の情報共有を図る。 ○個に応じて、必要であればスキルマップの活用を継続する。 ○グループ間の情報交換の機会を設け、町内の連携を図る。
---	--	---